

1. 件名：：福島県沖地震に対する地盤応答解析における地震標高設定に関する面談

2. 日時：令和5年10月17日（火）13時30分～13時50分

3. 場所：原子力規制庁6階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

大辻管理官補佐、元嶋専門職、高橋係員、宮田係員

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 1名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 3名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨：

- 原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、令和3年2月13日に発生した福島県沖地震による設備等への影響評価において、地盤モデルの地震の地層の厚さの一部が誤った数値で解析を行っていた事象について、本年4月5日の面談に続いて、当該解析結果の再評価が完了したことから、資料に基づき説明を受けた。
- 原子力規制庁は、上記の内容を確認し、令和4年4月18日開催の第99回特定原子力施設監視・評価検討会資料1-2（2021年2月13日に発生した福島県沖地震に関する設備点検および確認事項への対応状況及び今後の耐震設計について）については、修正した資料を次回の特定原子力施設監視・評価検討会にて配布することを東京電力に求めた。
- 東京電力から、原子力規制庁からのコメントについて対応していく旨回答があった。

6. 資料：

福島県沖の地震に対する地盤応答解析における地盤標高設定の誤りについて